

# 読書科について

## 1 読書科とは

### ①目標

読書における見方・考え方を働かせ、読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 読書から生きて働く知識を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の取り方を身に付けることができるようにする。**(知識及び技能)**

(2) 問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ、表現することができるようにする。

**(思考力、判断力、表現力等)**

(3) 読書および読書を通じた探究的な学習のよさを認識し、主体的に取り組むとともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う。**(学びに向かう力、人間性等)**

②目指す子ども像                      主体的に読む子ども      問い続ける子ども

### ③内容

知識及び技能		
	基礎期（小1～小4）	活用期（小5～中1）
読む本の選択	自分で選んだ本	目的に応じた本
読書の仕方	自由読書、読み聞かせ	自由読書、読み聞かせ
読書を通じた交流	例 読書クイズ 読書発表会	例 リテラチャーサークル 読書会
理解等の程度	内容を理解する	内容を理解する
収集する資料	簡単な資料 例 図鑑の使い方・日本十進分類法	目的に応じた資料 例 年鑑の使い方・新聞の読み方
記録の取り方	簡単な記録の取り方 例 そのままカード まとめカード	目的に応じた記録の取り方 例 情報リスト 要約カード 聞き取りカード
思考力、判断力、表現力		
問題（疑問）の発見	身近な生活の中からの疑問 例 太陽チャート ピッツァシート	身近な人や社会、自然にかかわる問題 例 ウェビング図 5W1H法
情報の処理	情報を比較・分類する 例 感想カード マトリックス表	情報を整理・分析する 例 考察カード、ピラミッドチャート
自分の考えのまとめ・表現	他者に伝える 例 画用紙、発表会	分かりやすくまとめ、表現する 例 レポート、調べる学習コンクール
学びに向かう力、人間性等		
読書に対する認識	良さが分かる	良さを実感する
読書に対する意欲	進んで読もうとする	読書習慣を大切にする
学ぶ対象	自分で見つけた疑問	自分で見つけた問題
学ぶ態度	主体的に学ぶ	他者と関わり合いながら主体的に学ぶ

#### ④読書科関係資料について

学校LAN書庫（地域共有フォルダ＞指導室＞読書科）に保存されている資料（①読書科指導指針②読書科指導指針解説③読書科ノート児童・生徒用 基礎期・活用期・発展期【Word版・PDF版】④読書科ノート教師用 基礎期・活用期・発展期⑤読書科リーフレット⑥読書科指導事例集（～小学校版～）を活用する。

## 2 読書科の時間数

朝読書等	1 単位時間で行う授業	合計
23時間	12時間	35時間

## 3 朝読書

### （1）実施日

- ・火・木の朝読書の時間
- ・毎週火曜日 音読検定の活動
- ・月1回木曜日 保護者ボランティアによる読み聞かせ（年間8回）

### （2）方法

- ①8時20分～35分の15分間（20分にスタートできるように、あらかじめ本を選ぶ）
- ②全員で読書する。教員も一緒に本を読む。しゃべらない。立ち歩かない。
- ③読み聞かせのときは、机を後ろに下げておく。
- ④毎週火曜日は、音読検定の活動を行う。
- ⑤読書表現活動（おすすめの本カードの記入やポップ作りなど）、探求的な学習の調べる活動を行ってもよい。

## 4 1 単位時間で行う授業

年間12時間の1単位時間で行う授業は、探求的な学習「調べる名人になろう」を全学年で行う。また、調べる学習コンクールへの参加に向けた取り組みや読書活動、読書表現活動を行う。

学年	内容
1年	じどう車ずかんをつくろう
2年	やさいはかせになろう、調べる学習コンクールへの参加
3年	生き物調べをしよう、調べる学習コンクールへの参加
4年	本のポップや帯を作ろう、調べる学習コンクールへの参加
5年	米作りについて調べよう、調べる学習コンクールへの参加
6年	ビブリオバトル、調べる学習コンクールへの参加

## 5 調べる学習コンクールへの参加

- (1) ねらい 図書館の資料を活用して調べ、まとめ、発表することを通して、課題解決力を育む。
- (2) 日程 読書朝会（説明） 7月 2日（木）  
読書朝会（表彰） 9月24日（木）
- (3) 内容

「図書館を使った調べる学習コンクール」に全校で取り組む。同時に校内コンクールを実施し、各学級および専科教員にて優秀作品を選定し、校内で表彰を行う。校内で特に優秀である作品については、校長賞とし、「図書館を使った調べる学習コンクール in えどがわ」に出品、高学年で特に優秀である作品は「江戸川っ子読書科コンクール」に出品する。

## 6 読書月間の取組

- (1) ねらい 読書に親しむ子を育てる
- (2) 期間 第1回読書月間 6月 8日（月）～ 7月 3日（金）  
第2回読書月間 10月 5日（月）～10月30日（金）
- (3) 内容

第1回読書週間	第2回読書週間
①おすすめの本の紹介カード（学年ごとに掲示）	①家族で読書チャレンジ
②教職員によるシャッフル読み聞かせ 6/25（木）朝読書の時間	②教職員によるシャッフル読み聞かせ 10/ 8（木）朝読書の時間
③図書委員会による読み聞かせ 7/16（木）朝読書の時間	③保護者ボランティアによる読み聞かせ 10/22（木）朝読書の時間
④保護者ボランティアによる読み聞かせ 6/18（木）朝読書の時間	④読書の記録
⑤読書朝会 6/4（木）	
⑥読書の記録	

## 7 長期休業中の取組

- (1) ねらい 読書に親しむ子を育てる
- (2) 方法 ①長期休業（春休みを除く）中は、図書館の貸し出しを3冊とする。  
※貸し出し・返却は、長期休業前後2週間で行う。  
担任は返却が完了しているかを確認する
- ②読書の記録を家庭学習とする。（記録用紙は図書担当が配布）

## 8 中央図書館団体貸出の活用

### (1) ねらい

- 学級文庫に様々なジャンルの本、児童が手に取りたいと思う本をそろえ、児童の読書環境を豊かなものにする。
- 探求的な学習を行うときに、学校図書館では足りない資料を補う。

### (2) 日程

4 月中に全担任が「中央図書館団体貸出券」を作成、または、更新手続きをする。

**※毎月1回年10回程度の配送があるので、各学年学期に1回以上活用する。**

詳しい日程は中央図書館からの通知が届き次第、提案する。